

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム
FS ステージ シーズ顕在化タイプ 事後評価報告書

研究開発課題名	: 電波センサの時系列信号処理によるリアルタイム状況推定技術の開発
プロジェクトリーダー	: 沖電気工業(株)
所属機関	: 鎌倉稔成(中央大学)
研究責任者	: 鎌倉稔成(中央大学)

1. 研究開発の目的

研究責任者(中央大学)の有する多変量分布解析技術を、高齢者見守りに対する電波センサの信号処理に活かし、実用環境で想定される誤検知要因へ対応するため、多様なデータの取得と、実証的な取り組みの見える検知精度を目標に設定した。

2. 研究開発の概要

①成果

最終的に目標精度を大きく上回った。また、その結果の一部が日本経済新聞夕刊 1 面に掲載され、世の中の課題に対応した成果として認知されたと実感している。

②今後の展開

今後は事業部と連携し、マーケティングリサーチの実行と、その結果を踏まえた研究方向の調整、実証実験的な取り組みを踏まえたフィードバックと、商品化のマクロスケジュール等を検討していく。この中では、新たな検知事象への対応なども含まれる。公的な研究開発支援制度の活用も視野に入れながら、生産性を高めつつ安全・安心の向上を支援する技術として、実際の利用者に直接的な価値を提供する方式にまで高めていきたい。

3. 総合所見

一定の成果は得られており、イノベーション創出が期待される。電波センサによる見守り方式がある程度有用性のあることを実証したことは評価できる。今後、本手法の決定的に優れている点を、明確にすることが望まれる。